

令和4年度

# 事業報告

令和4年4月1日から  
令和5年3月31日まで

公益財団法人地域社会振興財団

# 事業報告

当財団は、住民の日常生活圏域である地域社会における各種の課題について、基礎的総合的研究等を行うとともに、地域社会に関する施策を推進し、もって地域社会における住民の保健、医療及び福祉サービスの向上並びに文化の振興を図り、地方自治の基盤の充実に寄与することを目的として設立され、社会情勢の変化に対応しながら、地域社会のニーズに沿った事業を展開している。

なお、令和4年度に実施した事業は以下のとおりである。

## (1) 調査研究事業（公益目的事業1）

へき地など地域住民の疾病の特異性、病態生理とその原因等を明らかにし、それに対する有効な対策について基礎的・総合的な調査研究を行うほか、同地域における高齢化、少子化の進展に対応した保健・医療・福祉に係る諸施策を支援するための調査研究を実施した。

## (2) 研修事業（公益目的事業2）

地域社会において保健・医療・福祉事業に携わる専門職員を対象とした最新の専門知識や技術の習得を図るための研修会及び地域住民や地域医療に携わる方を対象とした健康や医療や福祉に関する意識向上のための研修会並びに地域医療が抱える様々な問題とその解決策を医療従事者等と地域住民とともに考え討議するシンポジウムを行った。

## (3) 交付金交付事業（公益目的事業3）

栃木県が発売元として発行する「地域医療等振興自治宝くじ」の収益金を財源として、地方公共団体等が行う高齢社会対策大綱(平成30年2月16日閣議決定)、少子化社会対策大綱(令和2年5月29日閣議決定)及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和元年12月20日閣議決定)の実現に資する事業並びに学校法人自治医科大学の教育・研究に欠くことのできない施設設備の整備を支援するための交付金を交付した。

# 1 調査研究事業（公益目的事業1）

## （1）調査研究

当財団に設置する、地域社会健康科学研究所（6研究部門及び実験医学センター並びにさいたま支所）において、以下の調査研究を行った。

- ① 環境医学研究部門  
地域における疾病の環境要因の解明に関する研究
- ② 血液医学研究部門  
地域における疾病の特性と遺伝要因の解明に関する研究
- ③ 保健科学研究部門  
地域特性を踏まえた予防医学事業の企画、推進に関する研究
- ④ 健康福祉計画研究部門
  - ア 地域医療における好発疾患や医療体制に関する研究
  - イ 地域特性を踏まえた保健・医療・福祉施策の企画・実施方法に関する調査研究
  - ウ 地域における総合医と診療の在り方に関する研究
- ⑤ 病態生理研究部門
  - ア 病態検査、臨床生理等に関する基礎的・臨床的研究
  - イ 悪性腫瘍の発生机序等に関する細胞病理学的研究
- ⑥ 情報システム研究部門  
包括医療情報システムの開発に関する研究

## (2) 研究機器の整備

公益財団法人 J K A の補助(補助区分は、「医療機器の振興に資する事業に関する補助金(難病及び希少難病に関する研究機器の整備(医療機器の整備))」)を受けて、上記調査・研究に必要な研究機器の整備を行った。

整備機器名   ハイスループット シングルセル解析装置

研究テーマ   難病及び希少難病に関する研究

研究目的

分子バーコードと微小液滴作成技術を利用した、単一細胞レベルの解析(シングルセル解析)を可能とするための検体処理装置である。汎用性が高く、さまざまなシングルセル解析に利用が可能である。2010年代になって開発されたこの新手法により、患者検体など多様な細胞が混在した検体における細胞集団ごとの遺伝子発現量の比較のみならず、これまで捉えることのできなかつた希少な細胞亜集団の検出や、細胞分化過程の詳細な解析が可能となっている。

この機器を導入することにより、ミトコンドリア病の病態解明と治療法の開発、心不全の原因として注目されている心アミロイドーシスの病態を解明し、さらに、独自に開発した光標識技術を用い、癌細胞と周囲微小環境細胞の相互作用を明らかにし、新規治療開発を目指す。



## 2 研修事業（公益目的事業2）

### （1）中央研修会

地域の保健・医療・福祉事業に携わる医師、看護師、医療技術者等を対象に、当該分野の専門家を講師として、最新の医療情報の講義や技術の向上を図るための研修会を開催した。

実施回数：7回（対面6回、オンライン1回）参加者数：221名

### （2）現地研修会

地方公共団体等が推進する健やかな長寿社会づくりに寄与することを目的として、地域の住民や保健・医療・福祉事業に携わる医師、看護師、医療技術者等を対象に、全国各地の地方公共団体等が企画する健康や福祉に関するテーマの研修を、当該団体と当財団とが共催で開催した。

実施回数：5回（対面2回、オンライン等3回）、参加者数：809名

### （3）健康福祉プランナー養成塾

地域住民の社会福祉・介護サービスを実際に構想し、運営するコミュニティ・リーダーを育成するため、地方公共団体等の健康福祉行政等の企画立案に携わる保健師、医師、事務職員等を対象に、それらの職種を横断するような研修を実施した。

実施回数：2回（夏・秋《アドバンストコース》）、参加者数：40名

- ・ 夏（7月8日～7月10日 ハイブリッド）参加者 22名
- ・ 秋（11月11日～11月13日 オンライン）参加者 18名

### （4）地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム

地域医療の問題の解決に必要な住民の主体的活動を高めるため、住民団体（住民グループ・NPO法人等）が全国的な連携をとれるようなネットワークの形成及び持続的・発展的な地域医療支援活動の推進を目的としたシンポジウムを実施した。

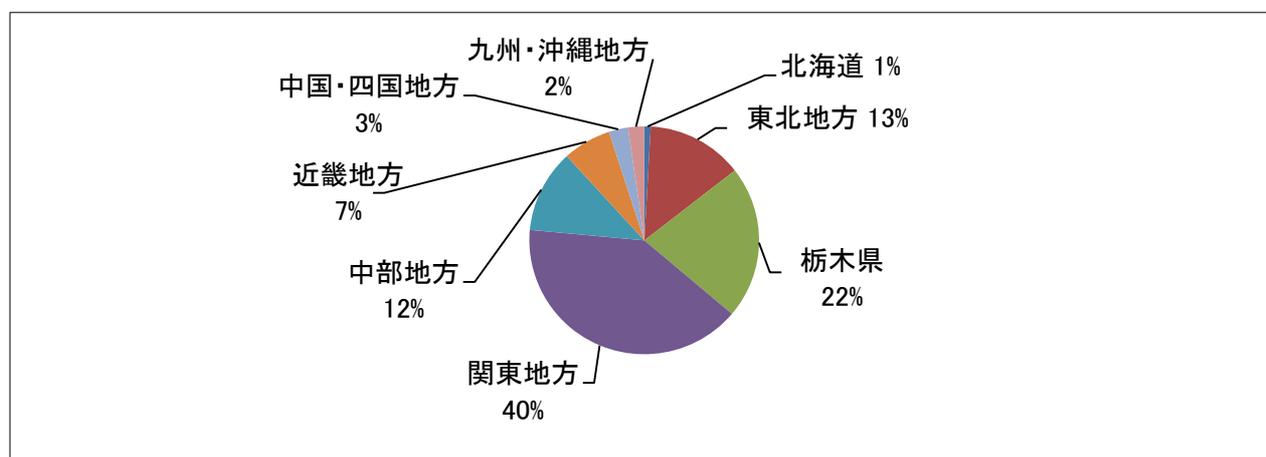
実施回数：1回 オンライン 参加数：89名

## (1) 中央研修会の開催報告

No	研 修 会 名	4年度 定員	4年度 (人)	定員	3年度 (人)	2年度 (人)
1	第40回 診療放射線技師研修会	40	38	40	中止	中止
2	第40回 薬剤師研修会	60	49	60	中止	中止
3	第 7回 栄養管理研修会	60	21	40	中止	中止
4	第47回 臨床検査技師研修会	50	50	60	中止	中止
5	第21回 健康企画・評価研修会	20	中止	20	23	中止
6	第42回 保健活動研修会	30	中止	100	62	中止
7	第 1回 看護師特定行為研修修了者 スキルアップ研修会	30	中止	30	中止	—
8	第19回 口腔ケア研修会	30	中止	—	293	中止
9	第40回 健康学習研修会	20	9	20	22	中止
10	第23回 リハビリテーション研修会	40	中止	30	中止	中止
11	第 2回 災害保健研修会（看護専門研修会改め）	20	19	20	中止	中止
12	第45回 スタッフ育成・管理担当者研修会	40	35	40	58	中止
13	第48回 看護師研修会（令和3年度から休止）	—	—	—	—	37
14	第 1回 ポイントオブケア超音波研修会（単年度）	—	—	500	165	—
15	第 2回 ポイントオブケア超音波研修会（単年度）	—	—	500	492	—
16	第 3回 ポイントオブケア超音波研修会（単年度）	—	—	500	177	—
計		440	221	1,960	1,292	37

オンライン

【参考：地域別受講者数の割合】



## (2) 現地研修会の開催状況

No	研 修 会 名 ..... テ ー マ	開催地	主催者	開催日	受講者数	卒業生関係
1	第10回つるカフェ市民講座 (地域社会振興財団50周年記念事業) ..... コロナで鍛えた私たちの底力～しなやかに生きる力	栃木県 下野市	地域社会振興財団、 つるかめ診療所	8月28日	486人	有
2	令和4年度奈良県総合リハビリテーションセンター 県民公開講座 ..... 家族みんなが健康に！！目指せ！ 奈良県、健康長寿日本ー！	奈良県 田原本町	奈良県総合リハビリテーション センター	10月22日	62人	
3	奈良県高次脳機能障害研修会 ..... 高次脳機能障害の方を理解するために ～社会的行動障害の特性とその対応方法～	奈良県 奈良市	高次脳機能障害 支援センター	9月22日	86人	
4	介護職パワーアップ研修Ⅱ ..... 私たち介護職が元気になる職場を考える	岩手県 一関市	ふじさわ地域包 括支援センター	11月12日	64人	有
5	大牟田市立病院周産期研修会 ..... コロナ禍における子どもの発達と支援	福岡県 大牟田市	地方独立行政法 人大牟田市立病院	2月10日	111人	
合 計					809人	

オンライン、ハイブリッド開催

### 3 交付金交付事業（公益目的事業3）

栃木県が発売元として発行する「地域医療等振興自治宝くじ」の収益金を財源として、以下の事業を行った。

(1) 人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金（896百万円）

人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業に積極的に取り組んでいる都道府県及び市（区）町村等を支援するため、交付金を交付した。

① 都道府県

都道府県が主体となって行う事業47件に対して462百万円を交付した。

② 市（区）町村等

市（区）町村等が主体となって行う事業172件に対して434百万円を交付した。

(2) 整備拡充事業費交付金（789百万円）

わが国のへき地等における地域医療の先駆的な役割を担っている自治医科大学の施設や研究機器等の設備の整備拡充を支援するため、整備拡充事業費交付金を交付した。

## 事業報告の附属明細書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

令和4年度における、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）第197条において読み替えて準用する同法第84条第1項第2号に規定する利益相反取引の内容は、下記のとおりである。

### 記

1. 取引の内容 地域医療等振興事業費交付金の交付  
(整備拡充事業費交付金交付事業分)
2. 取引をする理由 学校法人自治医科大学の施設設備等の整備充実に要する  
財源とするため
3. 取引をする相手方 学校法人自治医科大学  
当財団の大石利雄理事長が学校法人自治医科大学の  
理事長であり、当財団の田谷聡常務理事が学校法人  
自治医科大学の常務理事である。
4. 取引金額 788,517,388円
5. 取引日 第1回目 令和4年12月28日 445,214,876円  
第2回目 令和5年2月28日 343,302,512円